

患者さまファーストで  
目指した快適な睡眠  
～交換回数削減でみえた世界～

医療法人弘生会 老寿やすらぎ病院

病棟看護師長 樋井梢

# 老寿やすらぎ病院について



大阪府河内長野市小山田町379番地の5

医療療養病床(医療保険対応)：281床

特別室 2床／個室 24床

職員数：240名

看護師80名 看護補助者100名



医療法人弘生会

関屋病院

〒639-0254

奈良県香芝市関屋北5-11-1

# 老寿やすらぎ病院の特徴①

- 2024年度より再開した寿まつりをはじめとする三大まつり（さくら・夏まつり・寿まつり）の開催
- プロ女子サッカー選手（スペランツァ大阪）が看護部の一員として勤務
- 特別室（やすらぎの特別室）やシアタールームの完備



## 老寿やすらぎ病院の特徴②

- 和食・洋食・中華料理とバラエティに富むお料理をご提供  
時には手作りデザートもご用意し、患者さまのご期待にお応えしています  
(行事食・郷土料理・りんご割烹) ※給食業務は直営



- お好きな味でアイスマッサージ  
経口摂取困難な方にもコーヒーや紅茶など、患者さまが  
お好きな味を含ませた綿棒で舌を刺激して味覚を楽しんで  
いただく「アイスマッサージ」を取り入れています



# 老寿やすらぎ病院の理念

たとえ世界が  
明日終わりであつても  
私はいんごの樹を  
植える。

マルチン・ルッター

## りんごの理念

PHILOSOPHY of APPLES



since 1981

老寿やすらぎ病院の職員は、この言葉を「たとえ患者さまの明日の命運がどのようなものであっても、私たちは今日、患者さまに快適で楽しく有意義な生活を送っていただけるよう精一杯努力します」と読み替えて、患者さまの尊厳を守り、心をこめた医療・看護・介護を実践します。

# 老寿やすらぎ病院の想い

病院で生活を送る患者様には

ゆっくり安楽に  
過ごしていただきたい

ゆっくり眠って  
いただきたい



どうすれば

- 楽に過ごせるか
- 夜ゆっくり寝られるか

**実現するには何がいいだろう？**

## 老寿やすらぎ病院の想い

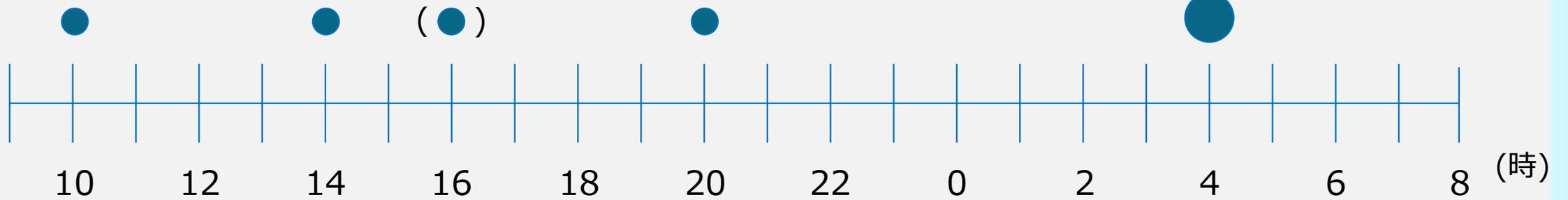
様々な手段がある中でたどりついたのが

# おむつの交換回数削減

▶ここから取り組みがスタート

# 取り組み前の状況

## 4回 (5回) 交換



+

## おむつの重ね使い

腹部にパッドを横あてする

フラットシートをおしりに巻く

▶▶モれることへの不快感をなくすため

全て患者様を想っての行動

## 2回交換へ移行

### GOAL

- スキントラブルの軽減 — より安心安全な看護を
- 継続性のある看護ケアの提供
- **患者様の安眠確保**

夜間の**4時**をなくして  
睡眠を継続できるように！

**交換回数  
2回に決定**

現状の半分まで回数を減らすことになったが  
**当時の現場の反応は…？**

## 現場の反応

におい

モレ

不快感

スキントラブル

増加するのでは？

**反対**

排尿後のおむつを装着したまま  
食事をするのは不潔では？

病院側がおむつ代を  
節約したいだけでは？

排泄ケアが手抜きに  
なっているのでは？

反対意見の多さに心が折れそうに…



# マイナスのままスタート

現場は反対していたが…

まずはやってみよう

と2病棟からチャレンジ

9月

病棟単位で

勉強会

現場ラウンド

12月

全病棟を対象に

集合教育

## あて方に苦戦

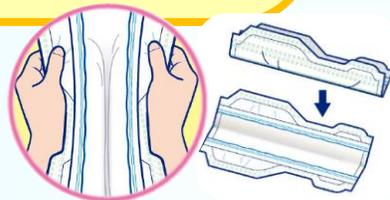
使用メーカーが変わり、おむつのあて方・サイズ感がガラッと変わる

### 真逆のあて方

山折りあて



谷折りあて



慣れなくておむつ交換に  
時間がかかってしまう

### テープ式おむつのサイズが小さくなった

- ・小さくなったことであてづらい…
- ・患者様が窮屈そうに見える

時間をかけているのに  
モレが発生してしまう



スタッフのモチベーションを下げる原因に…

## 悩み・つまずき

- スタッフの不安は消えないまま
- モチベーションもどんどん低下

意識を変えるのが  
本当に難しい

## スタッフの声

今まで患者様のためにやってきたことが全てひっくり返された  
もう何が正しいのかわからない



スタッフ間で揉めることもあった

## 乗り越えるための工夫①

### 外部の情報を取り入れる

院内で意見が  
まとまらない！



リフレサポーターに頼る！



揉めごとは未然に防いで、軌道修正は早めに！

## 乗り越えるための工夫②

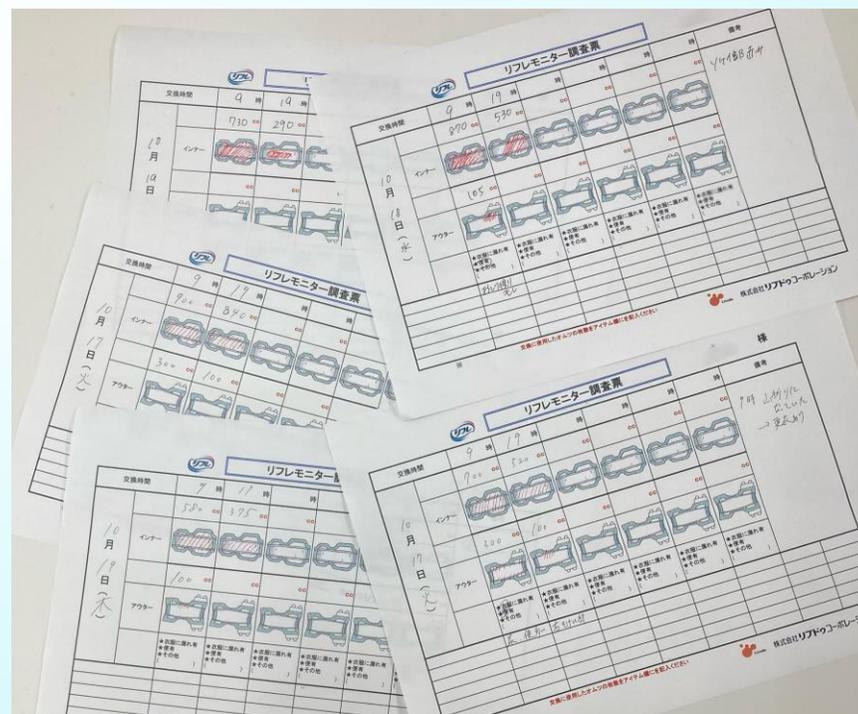
# データで事実を知る

本当に？

尿量が多い・尿量オーバーでモレル！  
▶その人によって感覚はバラバラ

患者様の状態・モレの原因を  
探るために「**尿測**」を実施

数値で全員の認識を統一



## 乗り越えるための工夫③

# 排泄ケア委員会の立ち上げ

看護補助者を中心に各病棟から集結 ▶ 病棟間の共有が可能に！

排泄ケア委員会が  
**情報収集の場**



毎月定期開催することで  
排泄ケアへのモチベーションを維持

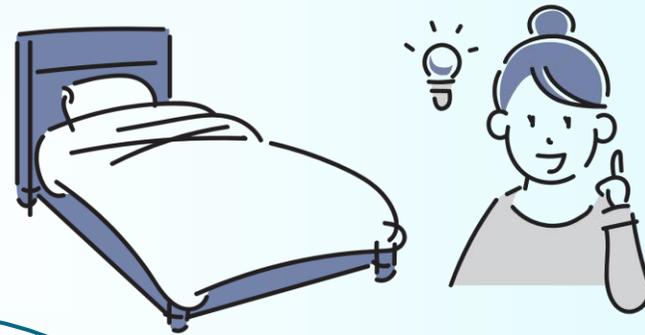
やりがいも感じられた！

## 乗り越えるための工夫④

### とにかく褒める

朝の交換時  
モレていない！

夜間時に上手にあてられた！



あて方上手！

モレないの  
すごい！

さすがですね！

**褒め合うことでモチベーションUP！**

## 工夫後の現場の変化①

モレの失敗を繰り返しながらもあて方・サイズ感に慣れてきた

患者様の体型にあった紙おむつを選択するように！

おむつ交換の時間

取り組み初期

現在

2時間



**1時間半**



**30分短縮！**

## 工夫後の現場の変化①

4回交換→2回交換になったことで時間と心に余裕が生まれた

患者カンファレンス



散歩



ハンドマッサージ

患者様やご家族  
との会話



スタッフの達成感や満足感につながった



## 工夫後の現場の変化①

身体的負担の軽減！

60代の看護補助者

1日4～5回のおむつ交換は  
身体への負担が大きい…



2回になったことで今後も  
夜勤を継続できそう！



## 工夫後の現場の変化②

おむつ交換に対する考え方が変わった

取り組み前

おむつ交換をしないと  
患者様は気持ち悪い  
思いをする！

起こしてでも交換  
してあげないと！

交換することが善

現在

絶対に交換することが  
良いケアとは限らない！

睡眠を邪魔しない  
ことを第一に！

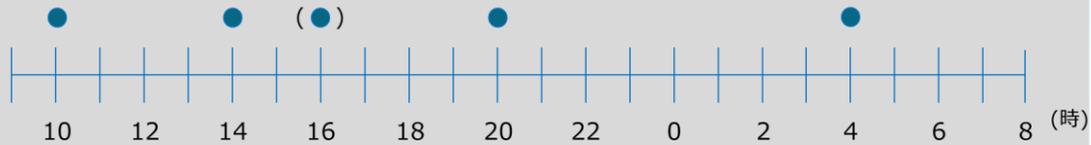
ゆっくり落ち着いた  
生活ができるように

おむつ交換による不穏  
を誘発しなくなった

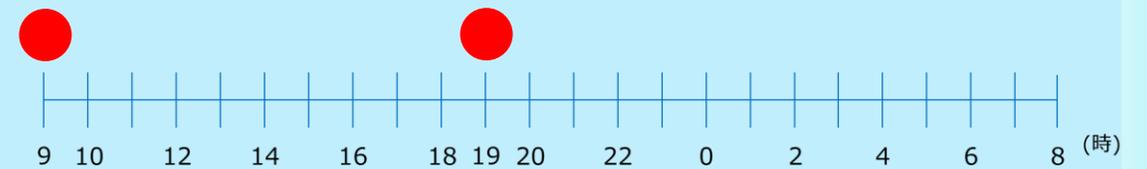
## 取り組み結果①

# 現在も2回交換の実施

10時、14時、(16時)、20時、4時



9時、19時



### モレの増加なし

パッド内で収めようというスタッフの意識が高く、交換を減らしてもモレを防ぐことができた



### スキントラブルの悪化なし

交換が減った分、より丁寧なケアへ



- ・陰部洗浄の徹底
- ・ポジショニングの意識
- ・圧抜きグローブの使用

## 取り組み結果②

# おむつの使用量が大幅に減少

おむつの使用方法の見直しにより総合的に使用枚数 **減**

重ね使いの撤廃

適正サイズの装着

10ヶ月間のパッドの使用枚数比較

【2022年11月～2023年8月】

他社

371,820枚

**37,182枚/月**

【2023年11月～2024年8月】

リフレ

169,440枚

**16,944枚/月**

## 課題

### 取り組みによって高まった 意識・技術を継続する



マイルールが生まれないように！

患者様ファーストで排泄ケアと  
ずっと向き合い続けたい

